

さいたま市議会議員

阪本 かつみ 市議会レポート

【2016. 9月号】

編集・発行：民進改革さいたま市議団 阪本 かつみ

さいたま市議会9月定例会は9月7日に開会しました

さいたま市議会9月定例会は、9月7日から10月21日の45日間の日程で開催されています。今定例会に市長より提出された議案は、平成27年度決算議案など（予算議案4件、決算議案4件、条例議案3件、一般議案4件、道路議案1件、人事議案2件）合計18件です。

今議会は決算議会と言われるように平成27年度決算議案の審査がメインとなりますが、特に、公費を投じて開催された「2015 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」や「第1回 さいたま国際マラソン」、「さいたまトリエンナーレのプレイベント」などの事業については、集中的に審査が行われます。多額の公費を投じてのイベントですから当然その効果はしっかりと検証すべきではありますが、単年度における成果も重要ですが、同時にある程度長期的な視野に立って考えなければならないと考えます。

いずれにしても決算審査は、来年度予算の編成にも大きくかかわりますので、しっかりとした審査が必要だと考えます。



さいたま市議会議員 阪本 かつみ

議会運営委員会 副委員長
総合政策常任委員会 委員
予算委員会 委員
医療提供体制・待機児童対策特別委員会 委員

平成28年度 さいたま市一般会計補正予算の概要

1. 健康・福祉の充実

- 1) 乳児に対するB型肝炎ワクチンの定期予防接種化に伴い、平成28年10月から接種を開始します。
・予防接種事業 144,850千円
- 2) 介護基盤の整備を推進するため、市内に開設される定期巡回・随時対応型訪問介護事業所等の開設準備に要する経費等の一部を助成します。
・老人福祉施設等施設建設補助事業 41,350千円
- 3) 保育所等利用待機児童の解消を図るため、賃貸物件による保育所の追加整備を行うとともに、国の補助基準額の改定等に対応するため、保育所整備に対する補助金を増額します。
・特定教育・保育施設等整備事業の一部 414,631千円

2. 農業の振興

- 1) 意欲のある市内農業者に対し、高収益な作物・栽培体系への転換を図る取り組みを支援するため、補助金を交付します。
・農業政策推進事業 34,177千円

阪本 かつみ 事務所

〒338-0836 さいたま市桜区町谷 3-24-15 TEL 048-710-4022 FAX 048-710-4023

E-mail: sakamoto-k@kfx.biglobe.ne.jp

「阪本 かつみ オフィシャル Web サイト」 <http://sakamoto-katsumi.net>

さいたま市 平成27年度決算状況について

〔一般会計〕

歳入決算額 4585億3千9百万円（前年比0.7%減）

歳出決算額 4479億8千5百万円（前年比0.5%減）

平成27年度は、「教育」「環境」「健康・スポーツ」といった本市の良さや強みを生かしながら、様々な施策や事業の取組を効果的に行うことで、市民一人ひとりがしあわせを実感でき、誰もが住みやすいと思えるまちづくりの実現を目指まいりました。

また、一層のコスト削減と財源の確保に努めてまいりました。

○決算の特徴

- ・ 実質収支は、連続して黒字を達成
- ・ 市税収入は、前年度比7億20百万円、0.3%の増
- ・ 市債は、前年度比118億93百万円、22%の減
- ・

○歳入の主な特徴

- ・ 市税は、個人市民税の増、固定資産税の増、都市計画税の増等により7億20百万円(0.3%)の増となった。
- ・ 地方消費税交付金は、消費税引上げの影響により79億48百万円、62%の増となった。

○歳出の主な特徴

- ・ 民生費は、国民健康保険事業特別会計への繰出し金の増、特定教育・保育施設等運営事業の増、自立支援給付等事業の増、生活保護事業の増等により91億18百万円(5.4%)の増となった。
- ・ 衛生費は、新クリーンセンター整備事業の減等により146億17百万円(29%)の減となった。

〔特別会計〕

国民健康保険事業特別会計ほか15会計の収支状況

歳入決算額 3187億5千6百万円

歳出決算額 3152億4千9百万円

○主な特徴

- ・ 後期高齢者医療事業特別会計では、被保険者の増加に伴う広域連合への給付金の増により8億78百万円、14.9%の増となった。
- ・ 介護保健事業特別会計では、介護サービス利用者の増等に伴う保険給付費の増により22億32百万円、4%の増となった。